

## 「火の祭」講演者一覧

回/年	タイトル	講演者
第1回 (昭和61年)	「工作技術センターの利用経験・設立時の事情も交えて」	勝俣 五男 (原研)
	「私の研究とガラス工作室」	兵働 務 (工学部)
第2回 (昭和62年)	「実験と装置」	森 雄三 (工学部)
	「センターの夜明け前」	藤野 明 (原研)
	「私と金工・ガラス工作」	海部 要三 (理学部)
第3回 (昭和63年)	「市大工作技術センター製 炭酸ガスレーザー」	笹沼 道雄 (工学部)
	「金工と低温」	児玉 隆夫 (理学部)
	ビデオ上映 「ボール盤の使い方(初級編)」 「旋盤の使い方(初級編)」 「ガラス細工実習」	ビデオ制作委員会
第4回 (平成元年)	「プラズマの研究と工作技術センターの利用」	南 繁行 (工学部)
	「ガラス工作室と私の研究」ー有機光化学を中心にして	加藤 正彦 (理学部)
	「依頼工作と工作技術センター」	林野 正善 (センター)
第5回 (平成2年)	「実験におけるオリジナリティと能率化について」	飯塚 勝 (理学部)
	「回折格子分光器」	石黒 英治 (工学部)
	「旋盤加工のknow how」	永田 隆廣 (センター)
第6回 (平成3年)	「ガラスと真空」	美馬 宏司 (工学部)
	「思い出のガラス工作」	酒井 豊 (センター)
第7回 (平成4年)	「分析電気化学セルを用いての金属錯体の電極反応解析」	市村 彰男 (理学部)
	「新素材とコンクリート」	真島 光保 (工学部)
第8回 (平成5年)	「しんかい6500乗船記」	益田 晴恵 (理学部)
	「ハイテク繊維について」	太田 利彦(生活科学部)
第9回 (平成6年)	10周年記念講演 「工作技術センター設立のころ」	伊藤 公一 (理学部)
	「髪を溶かす」	山内 清 (工学部)
	「顕微鏡で覗く宇宙」宇宙のチリから見た太陽系の歴史	三尾野 重義 (理学部)

第10回 (平成7年)	「分子研の装置開発室の紹介」市大工作技術センターの将来への参考	磯部 清 (理学部)
	「木造家屋の被害と生物劣化」	土井 正 (生活科学部)
	「直下型地震に耐えられるか」建造物崩壊のメカニズム	那谷 晴一郎 (工学部)
第11回 (平成8年)	「身近な結晶の成長」	七里 公毅 (理学部)
	「黒体放射の理論の崩壊」	笹沼 道雄 (工学部)
第12回 (平成9年)	「わかりやすさを設計に」	岡田 明 (生活科学部)
	「市販及び非市販ガラス器具と高分子の研究」	山田 文一郎 (工学部)
	「レーザーと化学」	中島 信昭 (理学部)
第13回 (平成10年)	「原子を積む:超高真空と半導体物理」	中山 正昭 (工学部)
	「千変万化する有機超伝導体」	村田 恵三 (理学部)
第14回 (平成11年)	「パルス電磁エネルギーと工作技術センター」	中川 吉郎 (工学部)
	「高圧下での鉱物の赤外分光」	篠田 圭司 (理学部)
	「ガラスの気持ち、人の心」	続木 秀夫 (センター)
第15回 (平成12年)	「アジア少数民族の住居と火の神」	上田 博之 (生活科学部)
	「複合材料の知的成形技術」	元木 信弥 (工学部)
	「マイクロな世界と私たちの暮らし; C <sub>60</sub> 及びC-チューブとその応用」	谷垣 勝巳 (理学部)
第16回 (平成13年)	「ファブリカ(工作技術センターレポート)あれこれ; -酒井主査とのおつきあい-」	田村 勝利 (理学部)
	「熱流体の可視化と工作技術」	西村 伸也 (工学部)
第17回 (平成14年)	「レーザー研究と工作ショップ; -個人的回想-」	曾我部 伸 (工学部)
	「光環境と食事」	曾根 良昭 (生活科学部)
	「小さな金属化合物の新しい機能」	木下 勇 (理学部)
第18回 (平成15年)	「機械工作の師匠たちとわたし」	南斎 征夫 (工学部)
	「回転混色機による、色の加法性とその色の見え」	佐藤 昌子 (生活科学部)
	「生体分光計測とその周辺技術:バクテリア光合成系を例として」	橋本 秀樹 (理学部)
第19回 (平成16年)	「テラヘルツ波領域用ワイヤーグリッド偏光子の製作」	菜嶋 茂喜 (工学部)
	「熱に関する教育用デモ実験機器あれこれと新しいタイプの冷凍機開発」	畑 徹 (理学部)
第20回 (平成17年)	「工作技術センター設立当時は振り返って」	東 恒雄 (工学研究科)
	「工作の現場から大学のものづくりの将来を考える」	林野 正善 (センター)
	「アメリカからみた本学の工作技術センター」	金 大貴 (工学研究科)
	「人はなぜ物を作るのだろうか? -もの造りと人との出会い-	唐沢 力 (工学研究科)

第21回 (平成18年)	「太陽放射に関連する測定システムの開発と測定データのモデル化」	井川 憲男 (生活科学研究科)
	「環状高分子の合成と機能」	圓藤 喜代司 (工学研究科)
	「私とガラス工作室」	古市 公彬 (理学研究科)
第22回 (平成19年)	「ファール昆虫記の分子科学論 ～狩りバチの謎に挑む～」	品田 哲郎 (理学研究科)
	「自動車と鉄道車両の運動力とシュミレーション技術」	杉山 博之 (工学研究科)
第23回 (平成20年)	「工作技術センターと共に24年」	林野 正善 (センター)
	「有機物で発電 ～熱電材料としての有機伝導体～」	吉野 治一 (理学研究科)
	「超低温物理のころ」	福田 常男 (工学研究科)
第24回 (平成21年)	「高強度フェムト秒レーザーで拓く化学反応」	八ツ橋 知幸 (理学研究科)
	「人間中心設計およびユニバーサルデザイン」	岡田 明 (生活科学研究科)
	「液膜の微粒化現象について」	脇本 辰郎 (工学研究科)
第25回 (平成22年)	「液体ヘリウムを使わない新しいタイプの低温生成装置の開発」	畑 徹 (理学研究科)
	「電気自動車 その実像と自動車産業に与える本当の衝撃とは何か」	南 繁行 (工学研究科)
第26回 (平成23年)	「ハエの季節対応にかかわる脳のしくみ」	志賀 向子 (理学研究科)
	「今日のエネルギー事情と再生可能エネルギーの熱力学的評価」	西村 伸也 (工学研究科)
第27回 (平成24年)	「厚板多列高力ボルト摩擦接合継手のすべり挙動とその実用設計法」	山口 隆司 (工学研究科)
	「現代の錬金術、鉄を白金に変える!? ～鉄触媒による有機合成反応の創成～」	板崎 真澄 (理学研究科)
第28回 (平成25年)	「巨大有機分子の構築とその機能探索」	小嵯 正敏 (理学研究科)
	「均一で大きな結晶を得るための晶析装置の開発」	五十嵐 幸一 (工学研究科)
第29回 (平成26年)	「健康長寿を目指すための食生活とは？」	小島 明子 (生活科学研究科)
	「オリジナルモノ作りと工作技術センターの重要性」	畑 徹 (理学研究科)
	「多機能OCTを用いたマイクロ断層診断法 ～皮膚・軟骨動脈硬化および複合材料への応用～」	佐伯 壮一 (工学研究科)
第30回 (平成27年)	「色を測る」	酒井 英樹 (生活科学研究科)
	「魚類の認知研究:最新の話から」	幸田 正典 (理学研究科)
	「医薬などの有機化合物の晶析(工業的結晶化)」	大嶋 寛 (工学研究科)
第31回 (平成28年)	「希土類(レア・アース)は光る」	篠田 哲史(理学研究科)
	「宇宙で植物はどう育つの?」	曾我 康一(理学研究科)
	「人工光合成に関わる光触媒の設計」	吉田 朋子(複合先端研究機構)

第32回  
(平成29年)
